

## 父親の家事・育児に対する遂行及び情緒的サポートが夫婦関係満足度及び育児幸福感に与える影響 —母親の理想とのズレに着目して—

田 中 俊 輔

現在、女性の社会進出が進み男性も家事・育児へ参加し、夫婦が協働して家事・育児を行うことにより家庭を運営していく必要が高まっている。このような社会背景をもとに、本研究では男性の適切な家事・育児への関わり方を検討することを目的とした。関わり方として、父親の家事・育児への参加と母親の行った家事・育児に対しての情緒的サポートを行うことの2つを取り上げた。そして、父親がどのような家事・育児に参加または情緒的サポートを行うとよいか家事・育児の内容ごとに、母親の理想とのズレに着目した。

そのために、母親の認識する夫婦関係満足度及び育児幸福度と家事・育児の内容ごとに父親の参加及び情緒的サポートの程度と母親の理想とする父親の参加及び情緒的サポートの程度を測定した。そして、父親の参加及び情緒的サポートの程度と母親のそれらの理想を従属変数、母親の雇用形態を独立変数とした分散分析を行った。また、父親の参加と情緒的サポートについて家事・育児の内容ごとに母親の理想と父親の実際の姿との差を差異得点とし、それらのズレが夫婦関係満足度及び育児幸福度に与える影響を検討するために重回帰分析を行った。さらに、家事の内容と夫婦関係満足度及び育児幸福度と父親の参加、情緒的サポートについての差異得点との相関を算出した。

その結果、母親の雇用形態によって異なる結果が得られた。父親の家事・育児への参加の程度及び参加の理想について、「登園降園と身体的な世話」で母親がフルタイム勤務であると他の雇用形態と比較して父親の参加及び母親の理想が高かった。また、父親の参加の程度と母親の理想とのズレについて、母親がフルタイム勤務であると「しつけ」、パート勤務では「登園降園と身体的な世話」でのズレが夫婦関係満足度に負の影響を与えた。父親の情緒的サポートの程度と母親の理想とのズレについては、母親がパート勤務であると「登園降園と身体的な世話」でのズレが夫婦関係満足度に負の影響を与えた。そして、家事の内容については、スキルを求められない家事項目で父親の実際の姿と母親の理想との間にズレがあることと夫婦関係満足度に負の相関が見られた。

以上より、父親がどのような家事・育児に対して参加及び情緒的サポートを行うかについて、母親の就労形態によって夫婦関係に与える影響が異なることが明らかになった。そのため、母親の就労形態によって母親と父親が協働して家事・育児を行う方法は異なると思われる、これらを示唆した点に本研究の意義があるだろう。